

2014年度八王子数論セミナー

八王子数論セミナーを2014年9月3日(水)13時~9月7日(日)12時に八王子セミナーハウス記念館(東京都八王子市)にて、「Schmidtの部分空間定理」をテーマにして行います。テキストは、

主テキスト W. M. Schmidt 著「Diophantine Approximation」, Lecture Note in Math. 785, Springer, 1980

および副テキスト

若林功記「Thueの定理」2006年度整数論サマースクール, Diophantine Equation 報告集, 21-27 と

若林功記「Schmidtの部分空間定理」

(後者2つは <http://math-seikei.sakura.ne.jp/wakabayashi/index.html> に)

と

Y. Bugeaud, P. Corvaja, and U. Zannier 著「An Upper Bound for the G.C.D. of a^{n-1} and b^{n-1} 」Math. Z. 243 (2003), 79-84. (Schmidtの部分空間定理の応用)

これらのテキストを参加者が分担して学びます。

八王子数論セミナーの最後に部分空間定理の応用を扱います。まず、上記の Y. Bugeaud, P. Corvaja, and U. Zannier 著の論文は比較的読みやすいので、これを参加者が分担して学びます。次に9月6日(土)午後に「代数的数のb進展開」の解説が金子元氏(慶應義塾大学経済非常勤講師)に、9月7日(日)に「ディオファントス近似と回帰数列」の解説が平田典子氏(日本大学理工)によって行われる予定です。

セミナーの目標は、部分空間定理の内容の理解とその応用例を学ぶことを中心にして、部分空間定理の証明については Thue の定理の証明をきちんとすることによってその方針を理解することを目指します。

セミナーオーガナイザー：金子元(慶応大学)、若林功(元成蹊大学)

世話人：須藤眞樹(元成蹊大学)、若林功

セミナーは基本的には合宿形式です。

参加申し込みを開始します。以下の事項を添えて、6月30日までに若林功(wakaba.isao@gmail.com)まで申し込んで下さい。

(1) 氏名 (2) 所属機関 (3) 電子メールアドレス (4) 全日程参加でない場合には、参加期間(今後も変更可能) (5) テキストの興味ある部分、テキストの分担について、ご意見・ご要望があれば記入。分担少量、分担なしも可。